

2026年3月27日

リコー、東京都による Air ソーラー(次世代型太陽電池)の普及拡大の 共同事業者に選定

～都庁舎・お台場海浜公園に“電源不要”の庭園灯を設置、
災害時の安全確保にも貢献～

株式会社リコー(社長執行役員:大山 晃)は、東京都(都知事:小池 百合子)と共同して Air ソーラーを都有施設に先行導入します。都庁舎およびお台場海浜公園において、Air ソーラー(ペロブスカイト太陽電池)を搭載した庭園灯を41基設置します。本事業は、2026年2月に東京都より採択を受けた「都有施設への Air ソーラー先行導入事業(庭園灯)」の一環として実施するものです。都は、2025年8月に実施した東京体育館周辺への導入に続き、Airソーラー※という名称を用いてペロブスカイト太陽電池の普及に向けた取り組みを推進しています。

※Air ソーラー (次世代型太陽電池)

ペロブスカイトと呼ばれる結晶構造を用いた太陽電池。

東京都が2025年7月に実施した投票キャンペーンにより決定した名称。

空気のようにあらゆる場所に設置されることを表すとともに、

Anywhere(どこでも)、Innovative(革新的な)、

Renewable energy(再エネ)の頭文字を取った言葉



ペロブスカイト太陽電池は、軽量化が可能で、照度の低いエリアや垂直設置でも効率よく発電できるという特徴があり、既存のシリコン系太陽電池に代わる発電技術として注目を集めています。本庭園灯は、ペロブスカイト太陽電池を搭載しているため配線工事不要という特徴を活かし、災害時には足元誘導灯として都民の安全・安心な生活にも貢献します。

リコーは、複合機の開発で培った有機感光体の技術を応用し、低照度の室内光でも発電する固体型色素増感太陽電池を世界で初めて販売しています。

今後は、インクジェットヘッド技術、インク・サプライ技術、プリンティングシステム技術を応用することで、ペロブスカイト太陽電池の高生産性化および低コスト化の実現を目指します。

「Driving Sustainability for Our Future. ～持続可能な社会を、ビジネスの力で。～」リコーグループは今後も、事業を通じて社会課題の解決に取り組み、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

株式会社リコー <https://jp.ricoh.com/>

報道関係のお問い合わせ先 広報室 TEL : 050-3814-2806 (直通) E-mail : koho@ricoh.co.jp

お客様の問い合わせ先 Energy Harvesting戦略室 事業統括グループ E-mail : zjp_dssc@jp.ricoh.com



<都庁舎およびお台場海浜公園での設置イメージ>

■事業場所・設置台数

- 東京都庁(東京都新宿区) : 2基
- お台場海浜公園(東京都港区) : 39基

■関連情報

東京都 環境局 Air ソーラー(次世代型太陽電池)の普及拡大

https://www.kankyo.metro.tokyo.lg.jp/climate/solar_portal/perovskite

インクジェット印刷ペロブスカイト太陽電池

https://jp.ricoh.com/technology/tech/138_PSC

■関連ニュース

ペロブスカイト太陽電池の実証事業を開始

https://jp.ricoh.com/release/2025/0820_1

東京都でのペロブスカイト太陽電池の実装検証を開始

https://jp.ricoh.com/release/2024/0315_2

さいたま市でペロブスカイト太陽電池搭載 CO2 センサーの実証事業を開始

https://jp.ricoh.com/release/2026/0123_1

*社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

| リコーグループについて |

リコーグループは、お客様のDXを支援し、そのビジネスを成功に導くデジタルサービス、印刷および画像ソリューションなどを世界約200の国と地域で提供しています(2025年3月期グループ連結売上高2兆5,278億円)。

“はたらく”に歓びを 創業以来85年以上にわたり、お客様の“はたらく”に寄り添ってきた私たちは、これからもリーディングカンパニーとして、“はたらく”の未来を想像し、ワークプレイスの変革を通じて、人ならではの創造力の発揮を支え、さらには持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

詳しい情報は、こちらをご覧ください。

<https://jp.ricoh.com/>